

売上げ目標達成度 (1月~3月)

|     | 目標      | 実績      | 達成率   |
|-----|---------|---------|-------|
| 荻田  | 221,771 | 198,654 | 89.6% |
| 小倉  | 126,440 | 111,754 | 88.4  |
| 大牟田 | 87,167  | 100,785 | 115.6 |
| 大村  | 40,035  | 59,561  | 148.8 |
| 唐津  | 153,895 | 155,994 | 101.4 |
| 大分  | 175,209 | 188,625 | 107.7 |
| 合計  | 804,517 | 815,373 | 101.3 |

(単位=千円)

目標は46年度予算の累計額

2月度災害件数 (1月16日~2月15日)

|     | 死 | 重傷   | 軽傷   | 不 | 休  | 計  |
|-----|---|------|------|---|----|----|
| 荻田  | 0 | 0    | 0    | 1 | 1  | 2  |
| 小倉  | 0 | 1(1) | 1(1) | 0 | 2  | 2  |
| 大牟田 | 0 | 0    | 0    | 0 | 0  | 0  |
| 大村  | 0 | 2(2) | 0    | 0 | 2  | 2  |
| 唐津  | 0 | 2    | 1    | 0 | 3  | 3  |
| 大分  | 0 | 1(1) | 0    | 1 | 2  | 3  |
| 合計  | 0 | 6(4) | 2(1) | 2 | 10 | 15 |

( )内は下請再掲

主要人事異動

▷荻田事業所技術課付 (事業所班長待遇) 技手 三上泰太郎→日本オイルエンジニアリング株式会社出向を解き荻田事業所機械課班長を命ずる (3月10日)

▷大牟田事業所技術課班長 技師 山下文二→技術部保修課主任を命ずる (3月16日)

▷大分事業所大岳出張所長 (班長待遇) 技手 松尾信→大分事業所新日鉄出張所長 (班長待遇) を命ずる (4月1日)

▷大分事業所昭和電工作業所班長 技手 渡辺英昭→大分事業所大岳出張所長 (班長待遇) を命ずる (4月1日)

▷唐津事業所工務係 技手補 野中道順→東京事務所主任を命ずる (4月16日)

~ 荻田第4期建設工事 ~  
脱気器吊り揚げ行なう

〔荻田=3月20日〕当社はさる3月20日、福岡県京都郡荻田町に建設中の九州電力荻田発電所第4期 (出力375,000KW) 工事の脱気器(自重56トン) 吊り揚げ工事を行なった。今回の吊り揚げ工事は作業条件が良かったため、22メートル作業面上にあらかじめ敷設した仮設レールの上に127トンと80トンの2台のトラッククレーンで相吊りして貯水タンクを仮置、その上に脱気器本体をのせて仮組立てした。その後、定位置までコロ引きで運搬を行なった。



吊り上げられる脱気器

(新社章・社旗決まる)

NPCの3文字をデザイン

〔本店〕さる3月1日の社名変更に伴って、新しい社章、社旗がこのほど決った。

新社章は、西日本プラント工業を英訳したNISHINIPPON PLANT ENGINEERING & CONSTRUCTIONのNとPとCの頭文字をデザインしたものである。

新しい社章



この社章圖案作成にはわが国で有名な西島伊三雄先生があたり、

曲線を巧みに生かした漸新なものである。

また、社旗は、白地にマルーン色(エンジ色)で社章を大きく中央に配し、下に小さく丸ゴシック体で西日本プラント工業株式会社と書かれている。

この旗のデザインも西島先生に依頼したもので、社章をみただけでこの会社かわかるように、社章を強調したデザインになっている。

なおすでに総務課では、各所に社旗を配布するため準備をすすめており、近いうちに各職場でわれわれのシンボルがひるがえることになる。

人事考課制度を大巾改正

業績反映を強く打ち出す

〔本店〕当社はこのほど人事考課制度を大巾に改正し、業績を直接考課表に反映させると同時に、評価をさらに適格なものにした。

当社の人事考課制度は、43年5月賃金体系に職能資格給を導入した際その個人の能力に応じた賃金にする目的で出発させている。

今回の改正の主な点は、①第1次の評定者を被考課者の直属の上長とし、技術員、事務員以下は班長、主任とした ②業績を賃金に直接結びつけた ③学歴、経験年数、経歴、過去の給料などは考えず、個人の資格の職能内容によって評価するようにした ④考課の結果が賃金だけでなく、昇進、配置転換、教育指導などにも大いに活用できる方法にしたなどである。

当然、本年度の5月昇給に、新し

い人事考課制度の結果が生かされるため、本店水野監査役、総務部の東総務課長が1週間以上わたって各所をまわり、評定者に改正の趣旨、要点、そしてもっとも大切な考課の方法などの説明をしている。

人事考課制度は、評定者の評定結果がその人の将来を左右するため、総務部ではすでに総合人事管理の立場にたつて、この制度をさらに業績人格向上、技能の開発や社内外の私的なことまでもが被考課者と評定者との間で話し合えるような個人面接制度、自己申告制度などを検討中である。

当社は4月1日本年度定期採用者の入社式終了後、福岡市郊外にある国民宿舎「志賀島苑」で3日間、5日から大牟田事業所に場所を移し17日まで新入社員教育を行なった。

志賀島苑では講師をビジネスコンサルタントから招き、①私の見方考え方、②企業活動の仕組みと働き③企業活動と私たちのあり方、④人間関係について、⑤効果的な仕事の進め方など、おもに企業人として必要な一般的教育が行なわれた。ついで、大牟田事業所では、田

<新入社員教育終る>  
本人参加の教育も展開

が講師にあたり、①当社の沿革、職制、②労働基準法、就業規則、③安全衛生、④発電設備の概要、⑤原子力発電についての説明、などの講義と発電所内における作業状況を見学したり、また、11日にはレクリエーションなどもおこなわれていた。

村所長をはじめ、事務、機械、電気系の社員

本年度の新入社員教育は、特にはじめのころみとして企業人感覚をやしなう教育をもちこみ、講師が一方的に話すだけでなく、ゲームや討論、自分の考えを発言する時間をもち、今までになかった新しい教育方法で展開された。

なお、大牟田事業所での教育は、講師の社員も新入生もすべて入寮し早く当社のふん団気になれてもらうように配慮されていた。

吉福さんが表彰受ける  
無事故無違反で

〔大村〕春の全国交通安全の初日(4月5日)に、大村警察署で優良運転手の表彰式が行なわれ、大村事業所事務課の吉福信義さんが、15年以上の無事故無違反運転で表彰を受けた。吉福さんが免許を取ったのは、今から約20年前の昭和27年5月30日、以後、日通の運転手として各地を走ったり、34年4月当社に入社後もずっと運転に従事、従業員や機材の輸送を行なっている。表彰を受けた吉福さんは、「走っ



優良運転手の表彰をうけた吉福さん  
た距離は80万キロメートル以上になります。これからは交通法規をよく守り、マイペースで運転して、無事故無違反の記録をのばしたい」と語っていた。(井原)

第2回、火友会ひらく

18名の大先輩が懇談

〔本店=4月10日〕さる4月10日午後3時から本店地下会議室で、火友会(当社定年退職者の会)の第2回総会が開かれた。

この総会には、石橋元相談役、大橋元常務、湯下元監査役、城戸、園田、福田元所長ら18名が出席、まず石橋元相談役の挨拶があり、大橋元常務が議長となって事務報告や同会規約の改正などが審議された。

このあと、屋上で記念撮影をした。このあと、屋上で記念撮影をした。菅原社長、池田副社長、木下常務ら同会の賛助会員としての懇談会に入った。懇談会では、会社側を代表して

菅原社長が、また卒業生を代表して石橋元相談役が挨拶を述べたあと、退職者全員の近況報告がつづいた。最後に、石橋元相談役の音頭で全員が「親いめでさ」をうたい、次の元気な再会を誓いあって散会した。なお、火友会は昨年8月に、当社の退職者が長らく交友をはかるために設立されたもの。



本店屋上での記念撮影(4月10日)

大村で多技能養成

〔大村〕大村事業所では、企業合理化の一環として、多技能工の育成を目的に、4月から業務終了後大型特殊自動車免許取得のため、大村市内で数名を練習させている。このほど、このうち松井敏明さん友広繁さん、一ノ瀬友太郎さんの3名が受験、全員が最高点で合格した。なお、この免許取得のための練習は6月まで続けられる予定で、今後の機械化体制に大きな力を発揮することになる。(井原)

新日鉄出張所を開設

〔大分=4月1日〕当社は4月1日、大分市大字西の洲1番地新日本製鉄株式会社大分製鉄建設所構内に新日鉄出張所を開設した。これは、すでに昨年12月同製鉄所の石井正辰建設所から当社に採算段階に入った土建、動力、用水および運輸設備の整備修理事業の協力依頼をうけており、当社もこの依頼にこたえて円滑に工事が行なえるよう出張所を開設したものである。現在、2台のバックホーとコンプレッサーの運転助勢を行っており、今後相当量の工事が進めることが見込まれている。なお、同日付で松尾信所長が着任した。